

| 国語科 学習指導案  |        |   |   |
|--|--------|---|---|
| 単元名  |        | 古典を読んで、作者の意図を理解する（言語文化）   |   |
| 単元の目標<br>（身に付けさせたい力）                             |        | <p>① 知識及び技能<br/>古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。（我が国の言語文化に関する指導事項イ）</p> <p>② 思考力・判断力・表現力等<br/>作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。（B読むことエ）</p> <p>③ 学びに向かう力，人間性等<br/>生涯にわたって古典に親しみ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつこと。（言語文化2目標(3)）</p> |   |
| 具体的な評価規準   |        |   |   |
| 知識・技能  |        | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
| 平安時代の政治的背景をふまえ、『大鏡』『栄花物語』『枕草子』の登場人物について理解を深めている。 |        | 『大鏡』『栄花物語』『枕草子』の成立した背景やそれぞれの作品の関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。  | 『大鏡』『栄花物語』『枕草子』の歴史的・文化的背景について主体的に理解しようとし、内容を解釈しようとしている。   |
| 単元計画   |        |   |   |
| 次  | 時      | 評価規準と評価方法   | 学習活動  |
| 一  | 1<br>2 | <p>【評価規準】</p> <p>・平安時代の政治的背景をふまえ、「競べ弓」の登場人物について理解を深めている。<br/>（知識・技能）</p> <p>・三人の人物像・作者（話し手）の見方・考え方をまとめている。<br/>（思考・判断・表現）</p> <p>【評価方法】</p> <p>・行動の観察，記述の確認</p>   | <p>① ② 『大鏡』当時の歴史的背景を知る。<br/>『大鏡』「競べ弓」を読み，道長・道隆・伊周の人物像をまとめる。</p>   |
| 二  | 3<br>4 | <p>【評価規準】</p> <p>・『大鏡』『栄花物語』の内容の解釈を深め，伊周の人物像について理解を深めている。<br/>（思考・判断・表現）</p> <p>【評価方法】</p> <p>・行動の観察，記述の確認</p>  | <p>③ 『栄花物語』を読み，道長・伊周のその後を知る。（伊周、内覧の宣旨・失政→道兼関白就任・伊周の落胆→道長，内覧の宣旨）</p> <p>④ 『栄花物語』『大鏡』を読み，中関白家の没落とその後の伊周について知る（伊周の不敬事件→浦々の別）→道長・伊周の双六）。ここまで読んできた作品の中から伊周の人物像をまとめる。</p> |
| 三  | 5      | <p>【評価規準】</p> <p>・『大鏡』『栄花物語』『枕草子』について，主体的に内容を解釈し，時代背景について理解し，「歴史」について自分の考えを深めようとしている。<br/>（主体的に学習に取り組む態度）</p> <p>【評価方法】</p> <p>・行動の確認，行動の分析</p>   | <p>⑤ 『枕草子』「大納言参り給ひて」を読み，ここに描かれた伊周の姿を読み取るとともに，ここまで読んできた伊周の人物像と比較して，なぜ描かれ方に違いが生まれたのかについて考察する。</p>   |